

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	青少年指導員地域活動事業			シート番号	014-031
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成
				課	評価責任者(課長名)
					橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	2	社会全体で子どもをはぐくむ仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	昭和 28 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市青少年指導員連絡協議会活動事業補助金交付要綱 堺市青少年指導員校区活動事業補助金交付要綱			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
5	事業実施の経緯	昭和28年に青少年指導員制度が発足。地域における非行防止活動推進のため、中学校校区単位に校長が地元と協議して推薦し、市長が委嘱していた。その後、昭和47年には堺市青少年指導員連絡協議会が発足し、全市の青少年指導員活動を展開している。現在は、校区自治連合会長からの推薦に基づき、市長が選任している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内在住のおおむね小学生から20歳までの青少年、及び地域で活動している青少年指導員				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	未来を担う青少年の健全育成活動を推進し、地域ぐるみで子どもを育む環境をつくる。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	地域において、ボランティアとして青少年育成に取り組む青少年指導員の活動経費に対し補助金を支出するとともに、校区間で連携して行う活動や、青少年指導員の資質向上等を目的とした中央組織の活動に対し補助金を支出する。なお、中央組織については子ども育成課が事務局を担う。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()				
10	直接実施以外の主な支出先	堺市青少年指導員連絡協議会、各校区青少年指導員会					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業コスト								
事業費 (a)	千円	7,215	6,991	7,316	6,919	7,153	6,768	7,462
主な事業費内訳								
負担金・補助及び交付金	千円	6,952	6,779	6,952	6,604	6,894	6,506	6,894
その他	千円	263	213	364	315	259	262	568
財源内訳								
国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円							
その他()	千円							180
一般財源	千円	7,215	6,991	7,316	6,919	7,153	6,768	7,282
12 人件費 (b)	千円	7,740	7,740	7,730	7,730	7,650	7,650	7,740
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	14,955	14,731	15,046	14,649	14,803	14,418	15,202

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	青少年指導員地域活動事業	シート番号	014-031
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	昨年度は1,386人の青少年指導員が活動し、地域における巡回や成人式実行委員などの活動を通して青少年健全育成に寄与した。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		青少年指導員数	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500
				実績値	1,383	1,383	1,386	
				達成率	92%	92%	92%	
				評価	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		全市的な活動を推進するため、市内の校区青少年指導員会の数を指標として設定。					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
達成率								
評価								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	青少年指導員数	人	1,383	1,383	1,386
	②	上記①にかかる年間経費	千円	14,731	14,649	14,418
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	10,652	10,592	10,403
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		青少年指導員数は目標に届いてはいるものの、依然数多くの青少年指導員が各地域で巡回や成人式実行委員などの様々な活動を実施。地域における青少年の健全育成に寄与する活動を推進することは不可欠であると認識。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

